



## 野外保育とよた 森のたまご

代表の遊佐美絵さんが「自然の中で子どもを育てたい」という思いで2010年に設立。かまどに火を起こしたり草花を観察したりと、五感を養える活動をしている。「おもちゃやスマホなどなんでも便利な時代。自分で工夫して遊んだり、何もせずに自然から何かを感じ取ったりすることも大切」だと遊佐さん。森の懐に抱かれた子どもたちはたくましく成長していく。



1.活動の理解者や協力者らの助けを借りて立てた小屋。雨風や日差しをしのげる貴重な 園舎。だ。2.「みんな自然の中に順応していきますよ」と遊佐さん。3.園で仕込んだ味噌で煮込んだうどん。命に感謝してアツアツをほおぼる。4.温度や音、匂いも、子どもたちにとっては発見のひとつだ。5.山は人が手をかけ続けることが大切なのだという。6.「子どもの意外な一面を見ることができます」と話す保護者。

九久平町

野外保育とよた 森のたまご

やがいほいくとよた もりのたまご

☎ 080・5122・1052 📍 愛知県豊田市九久平町

🕒 9:30～14:00 📅 月、土、日

🌐 [www.morinotamago.com](http://www.morinotamago.com)